

2026年3月25日

渋谷区の公立小中学校の仮設校舎「渋谷区立小中学校 青山キャンパス」内の  
「未来共創空間」の運営における  
第一弾連携パートナーの決定および第二弾連携パートナーの募集について

東急株式会社

当社は、渋谷区の公立小中学校の建て替え・移転に伴い開設された仮設校舎「渋谷区立小中学校 青山キャンパス」内の「未来共創空間」のコーディネートおよび運営（以下、本取り組み）について、2025年9月から特定非営利活動法人VIVITA JAPANと共同で受託しています。この度、本取り組みを2026年度も継続して実施することを決定しました。また、本取り組みをさらに加速させるための第一弾連携パートナーが決定しましたので、以下の通りお知らせします。

■第一弾連携パートナー（※連携内容は予定です）

◆企業

- 三菱鉛筆株式会社：広尾中学校にて「デジタルとアナログの違いの探究」授業を実施
- カゴメ株式会社：広尾中学校にて「トマトの苗を使った栽培～植育から始まる食育～」授業を実施

◆大学

- 実践女子大学 人間社会学部社会デザイン学科：学科必修の演習授業の一貫として、未来共創空間での授業伴走を実施
- 桜美林大学 教育探究科学群：フィールドワーク・実習先として、未来共創空間での授業支援・放課後活動の場を提供

◆その他協力企業・団体

- 一般社団法人渋谷未来デザイン
- 株式会社LDH JAPAN
- 株式会社円谷プロダクション
- 株式会社A440

また、本取り組みのさらなる拡大に向け、趣旨に賛同いただけるパートナーを新たに募集します。これまで当社が培ってきた多世代共創の知見を活かし、企業・大学・団体の皆さまの特性や関心に応じた柔軟な連携スタイルを提案します。

例えば企業との連携においては、自社の商品や原料を素材とした探究授業の実施や、学校でのワークショップの開催、さらに、職員が子どもたちの問いに対する「壁打ち」相手となり、ともに課題解決に向けて取り組む伴走支援などが可能です。また、施設との連携においては、探究授業の場としての施設の活用や、施設の特性を活かした体験型学習プログラムの共同企画などが可能です。

子どもたちが実社会の課題に触れ、多様な世代の大人と協働することは、子どもたちの探究力を向上させるだけでなく、参画する大人側にも新たな気づきや価値観の変化をもたらします。当社は本取り組みを通じて双方の価値創出を目指すとともに、「次世代を担う人材育成」と「社会課題解決」の両立に向けて取り組みます。



未来共創空間における探究活動の様子

## 【別紙】

### ■連携例について

本取り組みでは、企業・施設の特性や関心に応じて、柔軟な連携スタイルを提案します。

### 【企業との連携例】

#### 1. 商品・原料を活用した探究プロジェクト

企業の商品や原料を素材に、子どもたちと一緒に探究授業を実施します。「なぜこの素材が使われているのか」「どうすればもっと良くなるか」といった問いを起点に、子どもたちの探究心と創造性を引き出します。

#### 2. 学校でのワークショップ・実証実験

興味関心の高い子どもたちを対象に、学校内でワークショップや実証実験を開催します。最新技術や製品開発の現場を体験することで、学びと社会のつながりを実感できる機会を創出します。

#### 3. 社員によるこどもとの壁打ち・伴走支援

企業の社員の方々に、子どもたちの探究活動における壁打ち相手や伴走者として参画いただきます。子どもたちの問いに向き合うことで、社員の方にとっても新たな視点や気づきを得られる機会となります。

### 【施設との連携例】

#### 4. 施設を活用したプロジェクト活動

子どもたちの探究授業の活動の場として、施設を提供いただきます。まちを舞台にした実践的な学びの場として、地域との接点を創出します。

#### 5. 施設特性を活かした体験型学習

施設の特性やリソースを活かした体験型学習プログラムを共同企画します。子どもたちと施設利用者の交流を通じて、多世代共創の場を実現します。

### ■第二弾連携パートナーに関するお問い合わせ先

詳細は下記までお問い合わせください。

東急株式会社 フューチャー・デザイン・ラボ 教育プロジェクトチーム

Email: [info.kyoiku@tkk.tokyu.co.jp](mailto:info.kyoiku@tkk.tokyu.co.jp)

### ■青山キャンパス・未来共創空間について

渋谷区では、渋谷区基本構想で掲げる未来像「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」を目指して、子ども一人一人が個性を伸ばし、先進的で柔軟な考えを育むための教育に取り組んでいます。

その中で、これから渋谷区が目指す学校の将来像を『未来の学校』と銘打ち、学校の校舎建て替えというハード面と、探究する学びや教育DXなどのソフト面の両面から、『未来の学校』プロジェクトを進めています。

校舎建て替え期間中に使用する仮設校舎(青山キャンパス、西原キャンパス)では、新校舎に先駆けて最先端のICT環境と学習空間を整備し、『未来の学校』を先取りした学びを提供しています。

最初の仮設校舎となる青山キャンパスは、旧青山病院敷地に建設され、2025年9月に開校しました。

青山キャンパス内にある「未来共創空間」とは、探究学習と連携し、生徒が実社会と深く関わりながら「正解のない問い」に挑み、視野や価値観を広げて自らの可能性を切り拓くための探究・創造拠点です。

そこでは、企業連携などを通じて個々の探究学習を深めるだけでなく、高性能な機材をアイデア具現化の「手段」として活用できる環境も整備しています。運営事業者による伴走支援のもと、インプットとアウトプットの両面から生徒の知的好奇心を刺激し、質の高い学びを実現する場となっています。



青山キャンパスイメージ



青山キャンパス所在地

## ■東急とVIVITA JAPANによる「未来共創空間」の運営受託について

東急と特定非営利活動法人VIVITA JAPANは、2025年9月から、「青山キャンパス」内の次世代の学びの場「未来共創空間」のコーディネートおよび運営を共同受託しています。映像機器や音楽制作機器を使ったまちの魅力発信や、プログラミング機器を活用したまちの課題解決プログラム、地域企業・団体と連携したワークショップやトークイベントなどを開催しています。

参考リリース：<https://www.tokyu.co.jp/company/news/detail/58836.html>

## ■「子育て・学生応援 東急スクラムプロジェクト」について

東急は、グループ丸となって子育て世帯や学生を応援する「子育て・学生応援 東急スクラムプロジェクト」を2025年2月に立ち上げ、交通・教育・文化・暮らしなど多様な生活シーンにおいて価値提供を行っています。



東急のイノベーション推進組織であるフューチャー・デザイン・ラボでは、「多世代共創」をテーマに、異なる世代の価値観が交わることで新たな発想や価値を生み出す体験を創出しています。大人と子ども、大学生と高校生、若手社員とベテラン社員など、幅広い世代の交流を通じて、それぞれの学びを深めます。地域と連携し、こうした学びの場を広げることで、地域価値の向上とより良いまちづくりを目指しています。

また、教育分野では、渋谷区の公立小中学校を対象とした官民連携プログラミング教育支援「Kids VALLEY 未来の学びプロジェクト」において、プログラミングや課題解決型学習(PBL)の授業支援をしています。また、「まちづくり」をテーマにした探究学習プログラムも展開し、実社会に近い学びの機会を提供しています。

さらに、東急(株)グループには、理工系を中心とした先進的教育を展開する東京都市大学グループや、非認知能力の育成を重視した民間学童保育「キッズベースキャンプ(KBC)」を展開する(株)東急キッズベースキャンプなど、教育事業に関する豊富な実績とリソースがあります。これらのノウハウを活かし、次世代に必要な学びの機会を創出しています。